



**環境報告書2008**  
札幌大同印刷株式会社

## CONTENTS

トップコメント	2
2008年度実績と今後の環境目標	3
事業活動による環境負荷量	4
環境マネジメントシステム概要	5
環境への取り組み／省資源・省エネルギーの推進	6
環境への取り組み／リスクの回避	7
環境パートナーシップ	8
地域社会貢献活動	9
環境コミュニケーション	10

## 会社概要

■ 商号 札幌大同印刷株式会社  
■ 創業 1954年8月10日（昭和29年）  
■ 代表取締役 本間 翼（ほんま たすく）  
■ 所在地  
[本社・製造部]  
〒004-0003 札幌市厚別区厚別東3条2丁目1番1号  
電話 011-897-9711（代表）  
[営業本部]  
〒062-0905 札幌市豊平区豊平5条5丁目2番25号  
電話 011-823-6115（代表）  
[企画室dio（ディオ）]  
〒064-0807 札幌市中央区南7条西1丁目13番6号 リバーサイド第2弘安ビル4階  
電話 011-562-1270（代表）  
■ 資本金 56,950,000円  
■ 従業員数 104名（2009年5月現在）  
■ 事業概要  
[商業印刷]  
・パンフレット・リーフレット・カタログ・チラシ・ポスター・メニュー  
・会社案内・社内報・報告書・雑誌・カレンダー等  
[デジタル関連]  
・Webデザイン・システム開発・データベース構築・プログラミング等  
[その他]  
・PR企画立案・マーケティング・ノベルティグッズ・看板・DVD制作等

## 報告書概要

### ■ 環境報告書発行の目的

「環境報告書2008」は札幌大同印刷の環境への取り組みと実績、また、地域社会活動への一部を、札幌大同印刷を支えて頂く多くのステークホルダー（利害関係者）の皆さんに情報の開示を図るとともに、従業員の教育資料として用い、継続的な改善に向けて意識の向上と情報の共有化に努めることを目的としています。

尚、限られた誌面の中で、すべての活動を報告することは出来ませんが、札幌大同印刷が取り組む等身大の報告としてご理解を頂ければ幸いです。

### ■ 対象期間

2008年1月1日～12月31日

※2008年度の活動を中心としましたが、一部の項目については過去及び現在継続中の物も含まれております。

### ■ 対象組織

札幌大同印刷株式会社 全事業所

### ■ 対象範囲

札幌大同印刷株式会社における環境保全活動や実績を中心に掲載しています。

### ■ 本報告書の仕様

インキは一部植物油を含む環境に優しい大豆油インキ、用紙は事業活動によって余った紙を使用（リデュース=廃棄物の発生抑制）しています。

※表紙 / オフセット印刷機械の給紙部分

### ■ 本報告書掲載「Ecology Report」URL

<http://www.dioce.co.jp/daido/iso/index.shtml>

### ■ 発行部署及びお問い合わせ先

企画室dio 環境管理事務局

TEL 011-562-1270 FAX 011-562-1280

### ※ステークホルダー（利害関係者）

企業の利害を共有する人。お客様、株主だけではなく、従業員、取引先、地域住民など企業活動を行う上で関わるすべての人を指す。

札幌大同印刷は社会の変化に対応し、働きがいのある、夢のある会社を目指して企業として進むべき方向にベクトルを合わせて参ります。

## トップコメント

札幌大同印刷は、自然豊かな北海道の企業として、地球環境保全に努める事は企業の社会的責任を果たすことと考え、環境に対する積極的な取り組みを推進しています。

21世紀は「環境の世紀」と言われています。昨年開催された北海道洞爺湖サミットでは環境をテーマに掲げるなど、地球の温暖化問題による影響は益々深刻な問題となっております。地球環境に対する社会的責任も組織の大小に拘わらず、積極的な取り組みが必要だと考え、札幌大同印刷も2002年より環境マネジメントシステムを導入し、事業活動に伴う環境負荷の低減を図るとともに、環境に配慮した企画の提案・製品・サービスの提供を推進しています。

昨年は古紙配合率の偽装問題で、リサイクルの優等生と言われた再生紙への信頼が大きく失われたことにより、札幌大同印刷が目標に掲げる環境に配慮した紙の提案についての見直しなどもありましたが、子供たちが地球や動物たちのことを考え、楽しみながら学ぶことが出来る円山動物園応援グッズ「どうぶつぬりえ」の販売など、札幌大同印刷だから出来る取り組みにも挑戦して参りました。

これからも札幌大同印刷は、社会の変化に対応し、働きがいのある、夢のある会社を目指し、現状の見直しと改革を進めながら企業として進むべき方向にベクトルを合わせ、印刷文化を通して社会の発展に貢献して参りたいと思います。

皆さまの心からのご理解とご鞭撻を今後ともお願い申し上げます。



札幌大同印刷株式会社  
代表取締役社長

本間 翼

## 経営理念

札幌大同印刷は、基本的な考え方や活動の方向性を示している経営理念を実践することこそが、社会的責任を果たすことと考えます。

私たち 表現・言論・出版の自由を守り  
印刷文化を通して  
健全な社会の発展に貢献する

私たち お客様の志向を十分に認識し喜ばれ  
信頼される企業を創造する

私たち 職業人としての誇りと自覚をもって  
自己の能力を研鑽し發揮するよう努力する

私たち 互いの人間性を尊重し幸福の実現を目指す

制定 1991年 1月 1日

## 環境方針

### 理念

私たちは健全で美しい地球環境の保全を最重要課題のひとつととらえ、印刷及び印刷関連事業、マルチメディア事業の推進と地球環境保全との調和に努め、地球に優しい事業活動を継続して実践し、豊かな自然環境を将来世代へ引き継ぎ、北海道の企業として快適な地域社会の実現に貢献します。

### 基本方針

- 事業活動全般によって生じる環境への影響を認識し、環境目的・目標を定め、環境汚染の予防を含め、環境マネジメントシステムの継続的改善を図ります。
- 事業活動全般にかかる環境関連の法律、規制、協定等を順守するとともに、自主基準を定めて管理し、環境リスクを回避します。
- 環境保全のため、次の項目を環境管理における重点テーマとして取り組みます。
  - 省資源・省エネルギーの推進
  - 車両による排出ガスの管理と削減
  - 製造過程で使用する有機溶剤などの管理と削減
  - 廃棄物の管理と削減、リサイクル化
  - 製品事故の削減
  - 環境に配慮した資材、企画の提案とお客様サポート
  - 環境情報の公開
  - 地域社会への貢献
- 環境方針を達成するため環境目的・目標を設定し、全事業所・全従業員をあげて環境管理を推進します。
- 環境方針は札幌大同印刷で働く、または組織のために働くすべての人に周知し、環境保全の意識向上に努めます。また、利害関係者への周知により環境マネジメントシステムの理解と協力を要請すると共に一般の人にも開示し、入手可能とします。

制定 2003年 3月 1日 改訂 2009年 3月 1日

# 2008年度実績と今後の環境目標

「環境方針」の実現に向けて、環境保全活動の達成状況などを評価し、毎年「中期環境目標」及び「年度環境目標」の見直しと設定を行っています。

## 2008年度環境目標・実績

札幌大同印刷は、これまでの環境保全活動の実績を踏まえ、2008年度12項目の環境目標を設定し、その目標達成に向けた環境活動を推進してきました。活動実績を集約すると10項目について環境目標を達成することが出来ましたが、3項目については残念ながら未達成となりました。(詳細は6・7ページ参照)

※自己評価 ○目標達成 △目標未達成

環境方針	環境目的	2008年度目標	2008年度実績	評価
省資源 省エネルギー対策	電力の削減	電力使用量2004年度比 4.8%削減	電力使用量2004年度比 13.2%削減	○
	印刷予備紙の削減	印刷予備紙率 13.00%	印刷予備紙率 13.23%	△
	コピー用紙の削減	コピー用紙使用量2003年度比 16.1%削減	コピー用紙使用量2003年度比 28.0%削減	○
環境リスクの回避	低排出ガス自動車の導入推進	低排出ガス自動車導入率 80%	低排出ガス自動車導入率 79%	△
	有害化学物質の削減	揮発性有機化合物を環境対応品へ移行	代替品の調査・テストを実施したが環境対応品へ移行出来なかつた	△
	産業廃棄物の適正処分	実績の把握と手順に基づいた日常管理の徹底 委託先の現地立ち入り確認	分別保管・マニフェスト伝票など日常管理を徹底 産業廃棄物処理委託業者の現地確認を実施	○
	製品事故の削減	作業確認・品質管理の徹底	チェックリスト等を用いて徹底した	○
お客様への 環境提案・サポート	大同特色インキの提案	大同特色インキ提案受注率 38.00%	大同特色インキ提案受注率 42.7%	○
	環境にやさしい紙の提案	紙の種類拡大により測定	提案受注率調査の実施	○
	環境パートナーシップの強化	環境配慮型製品の提案	環境配慮型製品を隨時提案した	○
環境情報の公開	環境情報の公開	環境報告書の発行 web:ecology report に掲載	環境報告書を5月に発行 web:ecology report に掲載	○
地域社会貢献	地域社会貢献	地域ネットワーク・市民活動などへの参加、協力	円山動物園応援グッズの制作販売による寄与 キャンドルナイト・アースデイEZO参加・協力	○

## 環境中期計画

札幌大同印刷は、「環境方針」の実現に向けて会計年度を環境保全活動の周期とし、環境目標の達成結果状況などを評価・検証し、「環境中期計画」の見直しと次年度「環境目標」の設定を行い、環境保全活動を推進しています。

環境目的	項目	2011年度目標
省資源 省エネルギー対策	電力の削減	電力使用量の把握と手順に基づいた日常管理の徹底 クールビズの継続
	印刷予備紙の削減	印刷予備紙率を13.00%維持
	コピー用紙の削減	コピー用紙使用量の把握と手順に基づいた日常管理の徹底
環境リスクの回避	低公害車の導入	低排出ガス自動車100%導入
	有害化学物質の削減	揮発性有機化合物(VOC)該当トルエンの環境対応品移行
	産業廃棄物の適正処分	産業廃棄物排出量の把握と手順に基づいた日常管理の徹底 委託先の現地立入確認
	製品事故の削減	製品事故の把握と手順に基づいた日常管理の徹底
お客様への 環境提案・サポート	大同特色インキの提案	大同特色インキの提案受注率46.00%獲得
	環境にやさしい紙の提案	環境にやさしい紙の提案受注率の把握と手順に基づいた日常管理の徹底
	環境パートナーシップの強化	環境配慮型製品の提案 環境報告書作成の提案
環境情報の公開	環境情報の公開	環境報告書の継続発行 web版 ecology report に掲載
地域社会貢献	地域社会貢献	地域ネットワーク・市民活動等の参加、協力

# 事業活動による環境負荷量

事業活動から生み出されるさまざまな環境負荷のデータを集計・把握し、多岐に渡る環境影響を評価して、環境目的・目標に反映しています。

## 物質の投入(インプット)・排出(アウトプット)

環境負荷の低減を図るために、事業活動全体によって生み出される様々な環境影響を把握する必要があります。札幌大同印刷では、物質の投入(インプット)と排出(アウトプット)による環境データを事業所毎に集計・把握を行っています。また、環境に与える影響は多岐に渡り、多方面に関わることから、収集した環境データを基に環境影響を評価し、環境目的・目標に反映しています。

主な物質の投入(インプット)として、営業本部ではガソリン、企画室はコピー用紙、製造部の電力、紙、インキ、印刷溶剤などが上げられます。

※揮発性有機化合物 (VOC=Volatil Organic Compoundsの略語)  
空気中に揮発する有機化合物を指す。機械の洗浄用として幅広く使用されており、大気や水質などへ放出されると公害や健康障害を引き起こすことから、大気汚染防止法により規制されている。

また、主な物質の排出(アウトプット)として、営業本部では自動車からの二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)、企画室では校正による紙くず、製造部では印刷機械などからの二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)や有機化合物(VOC)、また、紙くずや廃油、廃アルカリなどの廃棄物が上げられます。

近年はCTP導入によるデジタル化の推進により、企画室と製造部で現像・定着液などの薬品の投入量と廃酸・廃アルカリなど、産業廃棄物の排出量が年々減少傾向にあります。

※CTP (Computer To Plateの略語)  
パソコンで作成したデータを、中間工程である製版フィルムに出力せず、直接刷版にて印刷機で使用するPS版に焼き付ける方法。

### 主な環境負荷量

物質の投入(インプット)	プロセス	物質の排出(アウトプット)
<b>エネルギー</b>	<b>営業本部</b>	<b>二酸化炭素 (CO<sub>2</sub>換算)</b>
電 気 383,640 kw	物品やサービス、情報、人などを結びつけます。	電 気 136,959 kg
ガ ス 291.70 m <sup>3</sup>	企画室	ガ ス 642 kg
灯 油 6,457 L	[企画] お客様に合わせたコンセプトをまとめ、企画立案します。	灯 油 16,207 kg
ガソリン 29,646 L	[デザイン・編集] コンセプトに沿ったビジュアルや文章などを駆使し、表現します。	ガソリン 68,482 kg
<b>資 材</b>	[製版] テキストや画像データなどを適切な印刷用のデータに変換します。	<b>合 計</b> 222,290 kg
コピー用紙 (A4換算) 396,136 枚	[Web] ホームページやプログラムの企画制作をします。	
印刷用紙 734.7 t		
		再生資源 (有価物)
		古紙 185,912 kg
		アルミ版 8,080 kg
<b>印刷インキ</b> 9,871 kg	<b>製造部</b>	
SOYインキ 1,325 kg	[刷版] 校了となった印刷用に変換されたデータを、印刷用の原版にします。	金属くず 175 kg
一般インキ 8,546 kg	[印刷] 印刷原版を印刷機に設置し、クライアントの要求を印刷で再現します。	廃酸 418 kg
PS版 9,523 kg	[製本・加工] 刷り上がった印刷物を、断裁、折り、製本など、最終的な製品に仕上げます。	廃アルカリ 10,274 kg
製版薬品 1,370 L	[梱包・納品] 完成した製品を、クライアントの指定する形に梱包し、期日までに指定の場所にお届けします。	焼却・埋立 (産業廃棄物)
印刷溶剤 11,670 L		廃プラスチック 52 kg
トルエン 229.6 kg		紙くず (再生不可) 6,300 kg
スプレー・パウダー 340 kg		廃油 (インキ類) 4,212 kg
製本針金 414 kg		(洗浄油) 1,673 kg
		<b>合 計</b> 217,096 kg
		一般廃棄物 33.52 m <sup>3</sup>

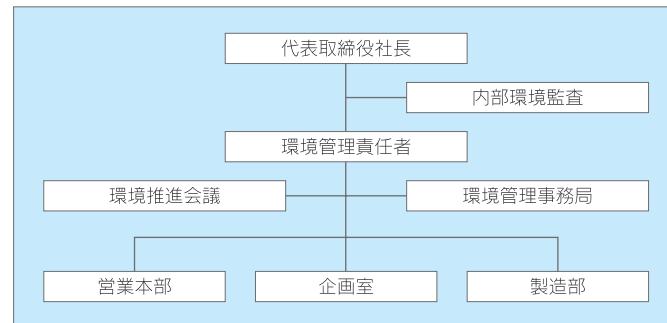
## 環境マネジメントシステム概要

PDCAサイクルを継続的に行って環境マネジメントシステムを運営し、環境活動の維持・改善・向上に取り組んでいます。

### 環境マネジメントシステム推進体制

札幌大同印刷は、PDCAサイクルを継続的に行い、効果的な環境マネジメントの運営を推進するために、代表取締役社長及び環境管理責任者のもと、役割と権限を明確にし、環境管理事務局・各事業所担当者と連携をとって、環境保全活動を円滑に行ってています。

#### ■環境マネジメントシステム概要



※PDCAサイクル  
Plan(計画)・Do(実施・運用)・Check(点検・評価)・Action(見直し)という4つの観点からスパイラルに継続的改善を図るマネジメントシステム管理の手法。

### 環境教育

地球環境問題の基礎知識や環境保全の継続的な改善を図るために環境教育を新入社員を始めとした全従業員を対象に実施しています。

また、部門独自の取り組みと日常の環境保全活動の維持向上を目的とする部門教育や環境マネジメントの専門的な知識などの習得を目的としたスタッフ・内部環境監査員の専門教育を実施しています。

2008年7月の全社環境教育では、環境教育スタッフを除く全従業員115名の全従業員が受講しました。



### 事故・緊急事態発生への対応

各事業所で定められた事故・緊急事態発生時の手順を基に、薬品や灯油などの漏れや自然災害などを想定した訓練を実施しています。

万一事故が発生した場合は、原因の究明や予防対策等の対応手順を見直し、再発防止に努めます。

2008年度は、事故・緊急事態の発生はありませんでした。



### 環境マネジメントシステム監査

環境管理責任者を中心に運営する環境マネジメントシステムが、ISO14001の規格との整合性や環境関連法規制の遵守状況などを適切に運用しているかを確認して評価し、継続的な改善を図っています。また、事業所毎に記録の確認や担当者へのヒアリング、現場従業員へのインタビューなど、日常の取り組みを中心で監査を行っています。

2008年度は、改善を要する指摘事項が合計6件と、前年度の指摘事項数を大きく下回り、環境マネジメントシステムの着実な定着を確認することが出来ました。また、営業活動での積極的な環境配慮型商品の提案の実施。地域社会(円山動物園)応援グッズによる新規事業の取り組み。製品事故削減に向けたポスターの掲示による見える化の推進など、環境保全活動に前向きな姿勢として賞賛事項が合計6件ありました。



#### ■2008年度 内部環境監査実施結果

	営業本部	企画室	製造部	環境管理責任者 環境管理事務局
観 察	2件	1件	1件	1件
軽微な不適合	1件	0件	0件	0件
重大な不適合	0件	0件	0件	0件
合 計	3件	1件	1件	1件
賞賛事項	1件	2件	1件	2件

### 法令の順守

札幌大同印刷の事業活動、製品及びサービスにおいて、環境側面に適応される環境関連法規制や地域の条例・協定などを遵守することはもとより、要求される規制の基準に対してより厳しい自主基準を設け、環境汚染の未然防止に努めています。

2008年度において、環境関連法規制等に関する違反や指摘、指導などはありませんでした。

#### ■主な環境法規制

- ・水質汚濁防止法
- ・下水道法
- ・労働安全衛生法
- ・PRTR法
- ・廃棄物の処理及び清掃に関する法律
- ・グリーン購入法
- ・フロン破壊法
- ・札幌市廃棄物の減量及び処理に関する条例
- ・札幌市生活環境に関する条例
- ・北海道公害防止条例
- など



## 環境への取り組み / 省資源・省エネルギーの推進

事業活動を通して、環境問題の重要課題である資源の投入を抑制するために、レスペーパー・省エネルギーを中心とした活動に取り組んでいます。

### 印刷予備紙の削減



札幌大同印刷は、事業活動から大量な紙を使用していることから、印刷位置やインキの濃度を合わせるなど、印刷時の試し刷りに使用される印刷予備紙の削減を図っています。

CTPやカラーマッチングによるデジタル化の推進、損紙の再利用、ポスターなどの掲示や部門教育によるオペレーターの意識啓発に取り組みましたが、印刷予備紙率13.00%の目標に対して0.23%増加となっていました。

増加の原因として、通し枚数の少ない印刷物が多かったことにより、印刷予備紙の比率が増加したと考えられます。今後の傾向として通し枚数の減少も予想されることから、製造部での教育による作業手順の徹底を図るとともに、受注傾向の変化に合わせた印刷予備紙率の目標設定を見直して行きます。

#### ※PS版 (Presensitized Plateの略語)

紫外線により感光する感光層をアルミ板に塗布したもので、オフセット印刷の版材として使用される。

#### ※カラーマッチング

パソコン画面上の色と出力して印刷された色は再現方法が異なるため完全に一致するものではないが、この色のずれをコンピュータで計算し、色の再現性を調整すること。

#### ※損紙

印刷や製本作業中に様々な要因から、製品として使用できなくなった用紙のことと、別名ヤレともいう。

### グリーン購入

札幌大同印刷は、商品やサービスを購入する際に必要性を十分考慮し、価格や品質とともに環境への負荷が出来る限り少ない物を優先的に購入しています。

グリーン購入対象品目として、文具事務用品、OA用紙、ティッシュ・トイレットペーパー、オフィス家具、社用印刷物の5項目を対象とし、グリーン購入の推進をしています。

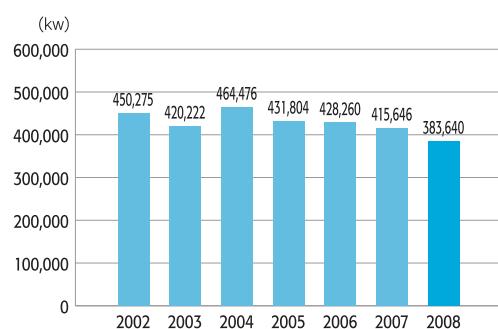
### 電力使用量の削減

CTP導入による印刷工程のデジタル化を推進。従来のフィルムを使用せずコンピューターからオフセット印刷用のPS版に直接データを出力することで、制作・刷版・印刷までの工程の作業時間が短縮されました。

また、各事業所のオフィス活動においては、クールビズの実施や照明未使用箇所の部分消灯、冷暖房の温度設定管理、離席時パソコンモニター電源OFF、液晶モニターの導入などに取り組んだ結果、電力使用量を前年度比で5.8%削減することができました。



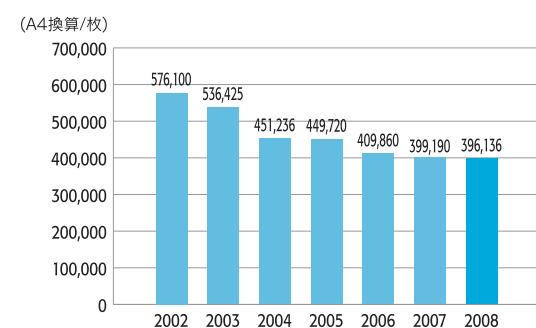
#### ■電力使用量の推移



### コピー用紙使用量の削減

お客様との校正のやり取りで多く使用するコピー用紙は、両面出力や裏面の再利用、PDF校正によるメールの活用、営業日報のデジタル化など日常の取り組みを継続的に行っています。また、製本工程時に発生する印刷用紙の断裁紙片を有効的に利用するなどに取り組んだ結果、コピー用紙使用量を前年度比で3.2%削減することができました。

#### ■コピー用紙使用量の推移



# 環境への取り組み / リスクの回避

化学物質や廃棄物などによる汚染の予防や法令の遵守などとともに、従業員の安全や健康管理に取り組んでいます。

## 有機化学物質の削減



2006年度より使用を禁止したジクロロメタンの代替品として、オフセット印刷機に付属するプランケット胴の洗浄用溶剤トルエンは、「札幌市生活環境の確保に関する条例」にて揮発性有機化合物(VOC)に該当し、特定化学物質の規制対象となることから、使用の制限や使用量の把握など、手順に基づいた日常管理の徹底に努めています。

使用する化学物質について、環境対応品への転換を図るために代替品の検証に取り組んだ結果、2008年度の調査・検証ではトルエンに代わる環境対応品はありませんでした。

また、化学物質を使用する作業に従事する従業員に対し、労働安全法有機溶剤中毒予防規則に則り、有機溶剤等の健康診断を年2回実施し、化学物質の管理、使用の制限を図るなど環境への負荷軽減と共に、従業員の安全と健康管理に取り組んでいます。

### ※プランケット胴

オフセット印刷機の胴のうち、印刷圧を生むゴムプランケットを巻いた中間胴の事で、版胴上の画像は一度このプランケット胴に転写され、さらに紙に再転写されます。

## 低排出ガス自動車の導入



アイドリングストップや法定速度遵守の徹底などに取り組むとともに、燃費の向上と排出ガスに含まれる窒素酸化物や二酸化炭素などの排出量が従来の自動車に比べて少ない低排出ガス基準レベル認定自動車を導入の際に積極的に選択しています。

地球温暖化や大気への環境負荷軽減に取り組んだ結果、導入率80%の目標に対して79%と目標にあと一歩届きませんでしたが、今後も継続して低排出ガス基準レベル認定自動車の導入を推進していきます。

※低排出ガス基準レベル認定自動車  
NOx(窒素酸化物)やPM(粒子状物質)など排出ガス低減に向け、国が定めた自動車の排出ガス基準に対応した低排出ガス車制度の認定を受けた自動車。

## 産業廃棄物の適正処分

産業廃棄物の適正処分のため、最終処分までの自主基準期日を定めて処分終了までの監視やマニフェスト管理票の管理、処理委託業者の許可証確認、現地施設への立ち入り確認などに取り組んでいます。

産業廃棄物は印刷工程でもっとも多く排出され、全事業所の排出量約96%を占めますが、前年度比で排出量0.2%削減しました。

2008年度は、産業廃棄物処理委託業者の現地施設への立ち入り確認を北海道アオキ化学にて実施し、適正な保管・処理等の状況を確認しました。



### ■産業廃棄物の排出量と処理（2008年度）

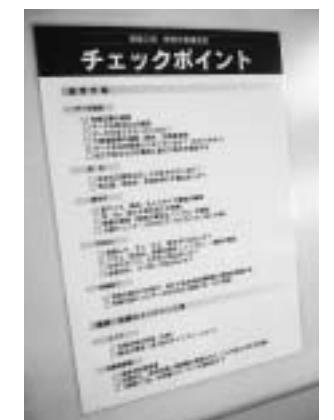
項目	リサイクル	焼却	埋立
紙くず	○		
PS版	○		
金属くず	○		
廃液(廃酸・廃アルカリ)	○	○	
廃プラスチック		○	○
紙くず(再生不可)		○	
廃油		○	

### ※マニフェスト管理票

産業廃棄物の収集・運搬、中間処理、最終処分などを委託する場合、排出者が委託者に対して適正な処理が行われたことを確認する管理票のこと。

## 製品事故の削減

印刷による製品事故は他の製造業と比較すると約20倍の発生率と言われており、環境に配慮した紙やインキを使ったとしても、製品事故が発生するとその取り組みが無意味な物となってしまいます。



印刷の代表的な製品事故として誤字・脱字・色間違い・汚れ・色ムラなどが挙げられ、製品事故の発生を未然に防ぐために作業チェックリストを見直すなど日常の取り組みを継続的に行ってています。

製品事故が発生した際には、事故原因の追及と対策を講じ、全従業員に製品事故の情報を共有し、改善及び再発防止に努めた結果、前年度比で約68%削減することが出来ました。

# 環境パートナーシップ

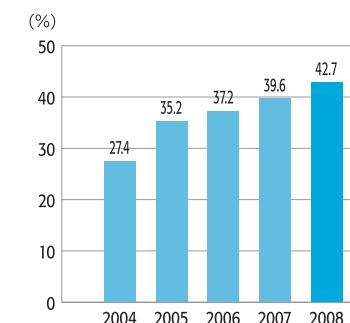
環境への配慮は、用紙・インキの提案はもちろんのこと企画・デザインの段階から、お客様とともに環境コミュニケーションツールを作成します。

## 大同特色インキの提案

札幌大同印刷は、無駄になるインキを極力減らすため、使用頻度の高い特色インキを選定した見本帳を用意し、お客様に出来るだけ見本帳の中からお選び頂く提案を行っています。

営業活動において、お客様への大同特色インキの提案を行った結果、前年度比で1.1%受注提案率が増加しました。微力ではありますが、大同特色インキの提案が環境負荷低減に繋がる取り組みと考え、今後も引き続き提案を行って参ります。

### ■大同特色インキの提案受注率の推移



## 環境に配慮した紙の提案

札幌大同印刷は古紙配合率偽装問題により、製紙業界やグリーン購入法など社会の動向を窺って参りましたが、再生紙の製造段階だけでなく、ライフサイクルアセスメント(LCA)を用いて評価した場合、地球温暖化の観点だけでなく、古紙の再利用を止めた場合の廃棄物増加に至るまでの社会全体のプロセスで古紙の再利用が有効と判断し、引き続き再生紙の提案を行って参ります。

また、持続可能な森林認証紙や間伐材紙などを含めた幅広い視野を持って、今後も環境に配慮した紙の提案を行って参ります。

### ※ライフサイクルアセスメント (LCA=Life Cycle Assessment)

その製品に関する資源の採取から製造、輸送、使用、廃棄などすべての段階を通して環境影響を定量的、客観的に評価する手法。

## 環境報告書の提案

札幌大同印刷は、環境保全活動の取り組みや実績などをまとめた「環境報告書」を2003年度より発行。全従業員に配布して継続的改善の意識向上と環境情報の共有化を図るとともに、札幌市主催「環境報告書展」への参加や環境サポートセンター、札幌市環境プラザに常設・配布しました。

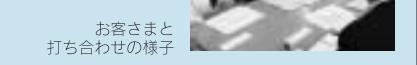
「環境報告書」により環境情報公開することで、地域社会とのコミュニケーションや従業員のモチベーションアップ、企業の信頼性の向上に有効なツールと考え、お客様に「環境報告書」の作成を提案しています。

## 主な環境配慮型製品の実績

札幌市環境プラザ  
「さっぽろ環境ポスター展2008」  
再生紙・大豆油インキ

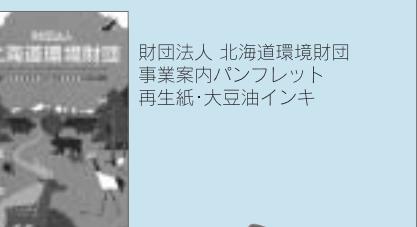
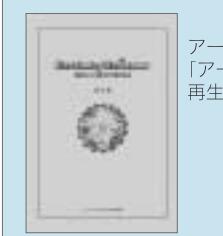


札幌市環境プラザ  
「市民連携企画報告書」  
再生紙・大豆油インキ



お客様と  
打ち合わせの様子

アースディEZO2008実行委員会  
「アースディEZO2008」報告書  
再生紙・大豆油インキ



財団法人 北海道環境財團  
事業案内パンフレット  
再生紙・大豆油インキ

さっぽろキャンドルナイト実行委員会  
「さっぽろキャンドルナイト2008」  
ポスター・パンフレット・報告書 他  
再生紙・大豆油インキ



キャンドル包装

携帯待受画面  
パンフレット  
実施報告書  
ホームページ



## 地域社会貢献活動

地域ネットワークへの参加や環境教育への取り組みなど  
地域社会に根差した活動の応援をしています。

### 札幌市円山動物園応援グッズ

地球や動物たちの未来のことを楽しく考えるきっかけとして、札幌市円山動物園にいる動物たちをモデルにした「ZONOTE」4種類、円形サイズの「まるカレンダー2009」を作成、札幌市円山動物園公認グッズとして販売した収益金の一部を、札幌市円山動物園の動物たちへの食べ物代として寄付しました。



動物たちを通して子どもたちの夢が広がる唄になればと願いをこめて札幌市民が作った「さっぽろ円山動物園のうた」(唄:神田英理香さん)が発売され、CDジャケット等に当社の「どうぶつねりえ」をモチーフにしたデザインを提供しました。

2008年4月29日(火)札幌円山動物園野外ステージで発表記念ライブが開催され、ライブの後に当社「どうぶつねりえ」のダイジェスト版を子どもたちに提供。ぬりえを通して動物たちの色や模様を自由に表現して頂きました。



※「札幌ADCコンペティション&アワード2008」  
さっぽろ円山動物園「どうぶつねりえ」のウェブサイトが、「札幌ADCコンペティション&アワード2008」にてWEB・インラクティブメディア部門銅賞を受賞しました。

### 市民連携企画

札幌市民の環境教育・学習の推進、市民団体と事業者の環境活動を支援すると共に、市民の環境行動の増加を目的とした札幌市環境プラザが主催する「市民連携企画」に参加しました。

2008年1月には、札幌エルプラザ公共施設1階エントランスロビーにて札幌大同印刷の環境の取り組みをまとめた環境報告書の配付とパネルを展示。3月には「市民連携企画」に参加する市民団体、事業者などの実施報告や活動紹介などの情報交換会に参加し、交流を深めました。



### さっぽろ環境ポスター2008

札幌市内に居住もしくは通学している児童・生徒から「地球のためにできる1(イチ)エコ」をテーマに、札幌市環境プラザが募集した「さっぽろ環境ポスター2008」に協賛・協力しました。

約160点の応募作品は、札幌市内の公共施設など4カ所を移動しながら展示されました。また、応募作品の中から市長賞を受賞した3作品は環境への意識啓発ポスターとして環境に配慮した印刷で作製し、札幌市内の公共施設などに展示され、市民へ環境問題を促すきっかけ作りとなりました。



### 北海道CO<sub>2</sub>オフセット推進協議会

「地球温暖化ストップ! 温室効果ガス削減」に向け、北海道全体で積極的な取り組みを実現し、地球温暖化防止に向けた積極的な北海道からの発信を目指す「北海道CO<sub>2</sub>オフセット推進協議会」が支援する取り組み「CO<sub>2</sub>オフセット対応e-copi事業」に協賛し、幼稚園の児童や保護者への環境教育のきっかけに寄与するとともに、2tのCO<sub>2</sub>がオフセットされました。



※CO<sub>2</sub>(二酸化炭素)オフセット  
日常生活や企業活動において温室効果ガス排出削減努力を行うとともに、削減しきれなかった分を途上国での排出削減事業などにより埋め合わせるという考えです。

## 環境コミュニケーション

私たちは社会の一市民であり、地域社会に役立つ活動が重要と考え、従業員がさまざまな地域活動に参加することを推進しています。

### アースデイ EZO 2008



「もっとたくさんの人たちと、地球のことを考えて行動して行きたい」「北海道に住む私たちが1人1人がどうぞ」というアースデイEZO実行委員会の呼びかけに賛同し、「アースデイEZO2008～地球のことを考えて行動する日～」に協賛・協力しました。

2008年度もアースデイEZO実行委員会の運営や5月17日(土)に開催されたオフィシャル会場である大通公園6丁目に、移動食器洗浄車「アラエール号」での食器の洗浄や貸し出し、会場内での来場者誘導、会場設営・撤収など、従業員15名がボランティアとして活動しました。



### 新さっぽろ冬まつり

札幌市厚別区で従業員が参加する「環境にやさしいまちづくりを考える会」の活動にて、ホテルなどから使用後に廃棄されるろうそくを使って厚別区民などに作って頂いたリサイクルキャンドル約180個を、2008年2月2日(土)～3日(日)「新さっぽろ冬まつり」の中で開催された「新さっぽろキャンドルナイト」に寄付しました。

「新さっぽろ冬まつり」の開催中、子供たちによるスノーキャンドル作りのお手伝いやキャンドルの点灯など、地元の町内会や企業、大学生などとともにボランティア活動を行いました。

### さっぽろキャンドルナイト2008



「1年中で一番長い夏至の日、夜8時から10時までの2時間、みんなで一斉に電気を消して、スローな夜を過ごそう」「世界に誇れる環境文化都市さっぽろの実現を目指そう」というさっぽろキャンドルナイト実行委員会の呼びかけに賛同し、さっぽろキャンドルナイト2008に協賛・協力しました。

キャンドルナイトミーティングへの参加、お客様や取引先、従業員にキャンドルナイトへの参加を呼びかけ、パンフレットやキャンドルを配布し、残業の抑制などに取り組みました。

### ラブアース・クリーンアップin北海道2008



北海道の環境を未来につなげるために「ごみ拾い」という誰もが身近に出来る行動で表現し、「私たちの北海道を私たちの手で世界一きれいな場所にしよう」という北海道市民環境ネットワークによる全道一斉ごみ拾いのムーブメント「ラブアース・クリーンアップin北海道2008」の呼びかけに賛同し、6月の環境月間に3事業所周辺のごみ拾いを実施しました。

総勢55名が燃えるごみやビン・缶・ペットボトルなど総重量11.1kgのごみを回収しました。

